

ほほえん de 北播磨

2014 July

平成26年7月

創刊号

あいさつ

暑気日ごとに加わる季節となりましたが、体調を崩されぬようくれぐれもご自愛ください。

さて、昨年十月に、旧三木市民病院と旧小野市民病院との統合病院である「北播磨総合医療センター」が開院しました。これも市民のみなさまや関係者のご理解とご協力の賜物と改めて感謝申し上げます。

当院は、地域になくはならぬ中核病院として、地域の医療機関との連携をますます深めながら、地域完結型医療に貢献していきたいと考えています。



このたび、広報委員会の取り組みにより利用者向け広報紙「ほほえん de 北播磨」を発行することになりました。「ほほえん de 北播磨」という名称につきましては、利用者のみなさんから公募をして決定したそうです。

この広報紙では、ドクターによるリレー講座をはじめとして、病院からのいろんな情報をお届けしようとスタッフ一同がんばっています。

みなさまの健康保持や病院の理解に少しでもつながることを願っています。



北播磨総合医療センター
病院長 横野浩一

病院長あいさつ	1
ドクターのリレー講座	2
認定看護師リレー紹介	4
チーム・委員会紹介	5
病院探検ツアー	6
公開講座報告	7
名称決定ほか	8

発行／北播磨総合医療センター 広報委員会
(事務局：地域医療連携室内)

〒675-1392 兵庫県小野市市場町 926-250

電話 0794-88-8800(代表) FAX 0794-62-9931

ホームページ <http://www.kitahari-mc.jp/>

～ドクターのリレー講座～

脳神経外科／Neurosurgery の紹介

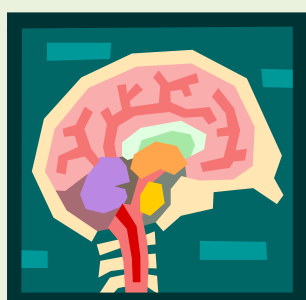
脳神経外科部長 三宅 茂



北播磨総合医療センターの開院を控え、2012年10月に旧三木市民病院に赴任し、脳神経外科診療を開始するとともに、医療機器の整備などの準備を進めてきました。そして、昨年10月に念願の北播磨総合医療センターが開院し、脳神経外科の診療を本格的に始動しました。

しかし、開院当初は7階病棟を閉鎖していたこともあり、満床のために救急患者さんの受け入れが困難な日が多く、地域の皆様には大変ご迷惑をおかけしました。

このたび、6月に7階西病棟（脳神経外科、神経内科、泌尿器科の病棟）がやっとオープンする運びとなり、近々ストロークケアユニット（SCU）も開設予定であり、今後は入院や二次救急患者をさらに積極的に受け入れ、地域の中核病院としてニーズに応えられるよう最大限努力いたします。



当科では、原則的に脳神経外科疾患すべてに対応が可能で、24時間体制で脳神経外科医が初期治療から直接対応しています。また、当院の大きな特色でもありますが、神経内科と密に連携し、一つの疾患に対して内科的・外科的双方よりアプローチして診療にあたっています。より高い質的診療レベルの脳外科治療をめざして、最新の機器を用いたできる限りの低侵襲治療、より安全な手術を行うように努力しています。

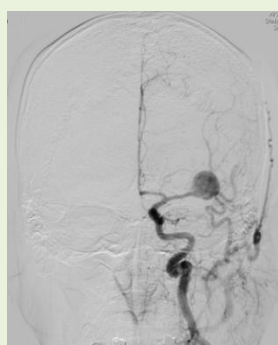
対象疾患

1. 急性期および慢性期脳血管障害

破裂脳動脈瘤に対する動脈瘤直達術、脳梗塞超急性期のrt-PA静注療法・血栓回収療法（メルシーシステム・ペナンプラシステム）を積極的に行っています。

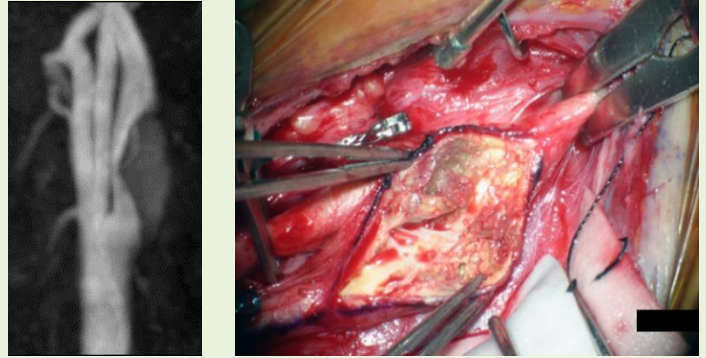
また、近年のEBMに基づいた慢性期脳血管疾患（未破裂動脈瘤、頸動脈狭窄、脳内主幹動脈閉塞、もやもや病など）に対する予防的治療、すなわち未破裂動脈瘤直達術、頸動脈血栓内膜剥離術EC-ICバイパス手術も積極的に行っています。

＜脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血（左から、頭部CT検査、脳血管撮影、術中写真）＞



動脈瘤に対する血管内動脈瘤塞栓術、頸部頸動脈狭窄に対するステント留置など、近年適応疾患の拡大の著しい血管内治療にも対応しています。

〈頸部内頸動脈狭窄症に対する内頸動脈血栓内膜摘除術
(左から、頸部 MRA 検査、術中写真)〉

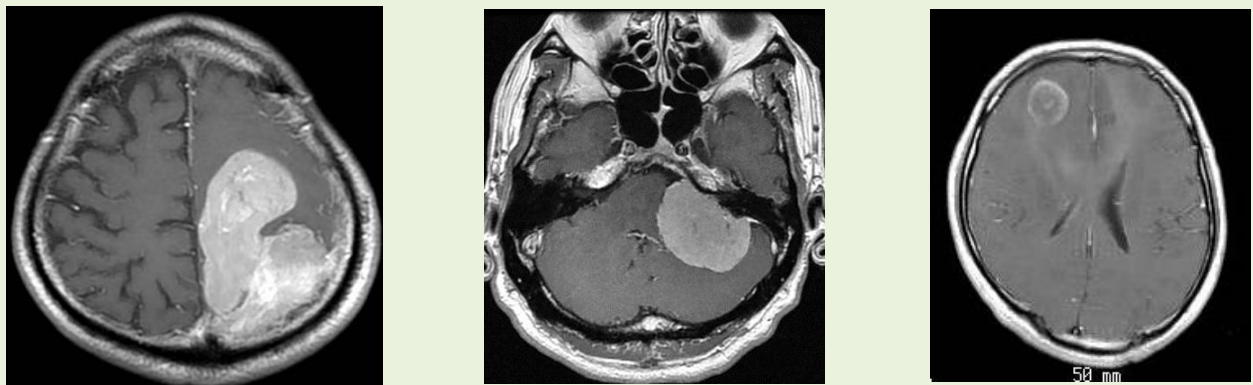


2. 脳腫瘍に対する集学的治療

脳腫瘍、特に悪性脳腫瘍に対しては開頭摘出手術後の補充療法が重要ですが、当院では放射線治療医との連携で放射線治療が可能であり、症例によっては免疫療法などの化学療法も含めた集学的治療を行います。

頭蓋底手術手技を用いた頭蓋底良性腫瘍の全摘出術、下垂体腫瘍に対する Hardy 手術など、治療困難な症例にも対応しています。また、神経内視鏡を用いた脳室内腫瘍の生検術も施行します。

〈脳腫瘍の MRI 所見 (左から、髄膜腫、髄膜腫、神経膠芽腫)〉

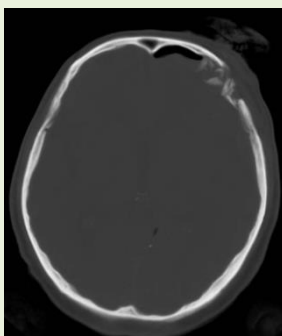


〈脊髄腫瘍の MRI 所見 (左から、上衣腫、髄膜腫、神経鞘腫)〉

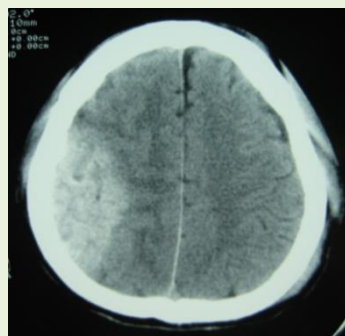


3. 脊椎、脊髄疾患
変形性頸椎症、後縦靭帯骨化症、腰部脊柱管狭窄症などの脊椎変性疾患はもとより、脊髄腫瘍、脊髄空洞症、脊髄血管奇形などの治療も積極的に行っています。

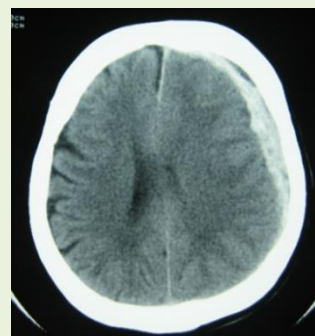
〈頭蓋骨陥没骨折〉



〈急性硬膜外血腫〉



〈急性硬膜下血腫〉



4. 外傷性疾患
外傷性疾患では、緊急手術のみならず、重症例に対するバルビツレート治療や頭蓋内圧の持続モニタリングなど、救命および機能予後回復へ向けた多面的な治療を行っています。

～認定看護師の活動リレー紹介～

感染管理認定看護師の巻

高橋尚子看護課長

(感染対策室)



認定看護師とは
日本看護協会が策定した資格認定制度の資格の一つ。特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を用いて、水準の高い看護が実践できる看護師のことを指す。高度化・専門分化が進む医療現場における看護ケアの広がり看護の質の向上を目的としている。

当院での医療関連感染対策の活動についてご紹介をします。

当院には、病院長を委員長とした感染対策委員会があります。ここには各部門の責任者が委員として構成され、毎月定例会を開催し諮問機関として病院内の感染対策に関することを決定します。

そして、その活動部隊としてICT (Infection control team) ; 感染対策チームがあります。

ICTは内科系医師・外科系医師・薬剤師・臨床検査技師・看護師で構成され、毎週病院内のラウンドを行っています。

ラウンドでは各部門の整理整頓ができていくか、一部の抗生物質の使用状況についてなど調査しています。

現場でゴミの廃棄方法や消毒剤の開封日時など細部に渡りチェックをするため、「あら探し隊」と自虐しながら病院の中をラウンドしています。

年2回以上の感染対策に関する研修会やICTニュースを毎月発刊し、職員の感染対策に関する知識向上への取り組みも行っています。

病院の中は清潔だと思われる方も少なくはありません。病院はあらゆる人が出入りする場所であり決して清潔な場所ではありません。

職員にも手洗いを徹底してもらい、来院の方々にもご協力を頂き外からの持ち込み、中でのうつし合いなどが無いように注意をしています。

正面玄関を入ったところに、手指の消毒剤とマスクの自動販売機を設置しています。

病院の中に入られる場合は、手指の消毒をお願いします。また、咳やくしゃみがひどい方はマスクでの咳エチケットにご協力をお願いします。

お見舞いをされる場合は、エレベーター前や各病室に手指消毒剤を準備していますので、ご利用ください。



感染対策は目に見えないものとの闘いです。細菌やウイルスも生き残っていくために姿、形をかえています。

この目に見えないものとの闘いは、1人ではできません。多職種が集まり互いの知識を出し合いチーム一丸となつて前進していきます。

これからもチーム力を活かし医療関連感染対策に取り組んでいきたいと思っています。

ご家庭や職場での感染対策などお困りの場合は、ご連絡ください。

【感染対策室 高月清宣 高橋尚子】



～チーム・委員会紹介～

「心臓リハビリってご存知ですか」

北播磨総合医療センターで心臓リハビリテーションを受けられます

心臓リハビリテーション Q&A

2012 年、天皇陛下が手術後に心臓の動きを回復させる「心臓リハビリ」を受けられたことで、全国的に注目が集まりました。

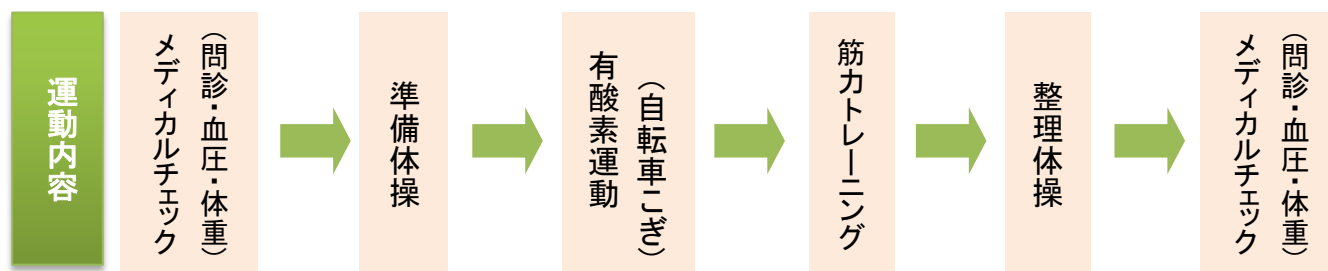
Q.心臓リハビリテーションって何？

A.心臓病の患者さんが、低下した体力を回復し、精神的な自信を取り戻して、社会や職場に復帰し、さらに心臓病の再発を予防し、快適で質の良い生活を維持することをめざして、運動療法、栄養指導、患者教育、生活指導、服薬指導などの活動プログラムに参加することです。一言でいえば、心臓病の患者さんが、快適で質の良い生活を取り戻すための総合プログラムです。



Q.心臓リハビリテーションって、どんなことをするの？

A.心臓リハビリテーション開始にあたり体力に応じた適正な運動強度を見極めるために、運動負荷試験を行います。試験の結果からその方にあった運動処方を作成し、運動と生活習慣に関するアドバイスをさせていただきます。その後は、通院にて運動療法を続けていただき、定期的な検査により心臓リハビリの効果の確認を行っていきます。運動中は、心電図モニタリングを行い安全に配慮しています。また、食事を含めた生活状況の確認をさせていただきます。通院の頻度は、患者さんと相談の上で決めていきます。



Q.どんな人が心臓リハビリテーションに参加できるの？

A. 急性心筋梗塞、狭心症、心不全、心臓手術後、大動脈疾患、閉塞性動脈硬化症、ペースメーカー植え込み後の方
年齢制限はありません。

Q.心臓リハビリテーションには、どんな効果があるの？

A.①心臓の動きが良くなる、②血管が広がりやすくなる、③不整脈が減る、④動脈硬化の予防、⑤体力がつく、
⑥気分が晴れやかになる、⑦再発や再入院が減る など様々な効果があります。

Q.心臓リハビリテーションを受けるにはどうしたらいいの？

A.参加を希望される方は、かかりつけ医に紹介状を作成していただき、循環器外来の予約を取ってもらってください。その後、心臓リハビリテーション外来の予約受診となります。当院通院中の方は主治医にご相談ください。

日時:毎週木曜日 13:00～

場所:2階 23リハビリテーション室 診察室

★病院探検ツアー

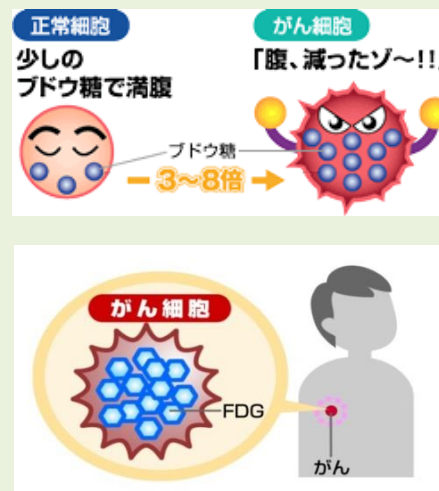
【中央放射線室】

～PET-CT検査を紹介します～



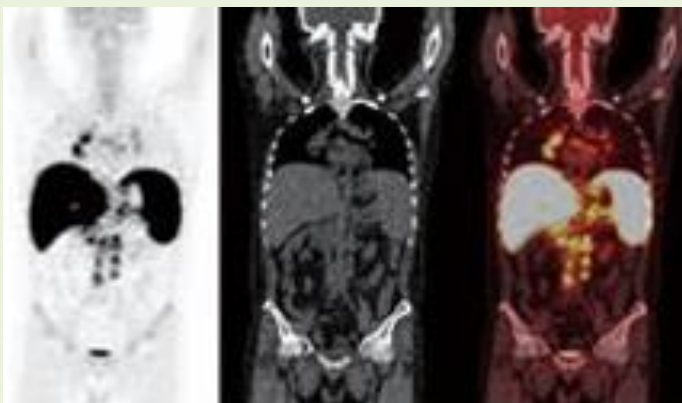
PET-CT検査の特徴

- ①10mm前後からの病巣（ガン）やリンパ節転移の診断が可能です。
- ②1回の検査で全身の病巣（ガン）検索が可能です。
- ③すなわち、それぞれの臓器ごとの検査ではありません。
- ④CTやMRIでは得られない病巣（ガン）の代謝活性情報が得られます。



PET-CT検査とは

がん細胞には、通常の細胞に比べて、はるかに多くのブドウ糖を消費する性質があります。この性質を利用して、ブドウ糖によく似た放射性同位元素（ ^{18}F -FDG）を体内に注射し、その集積を撮影して診断します。



左：FDG-PET 画像
中央：CT 画像
右：PET と CT の重ね合わせ



PET-CT検査の画像

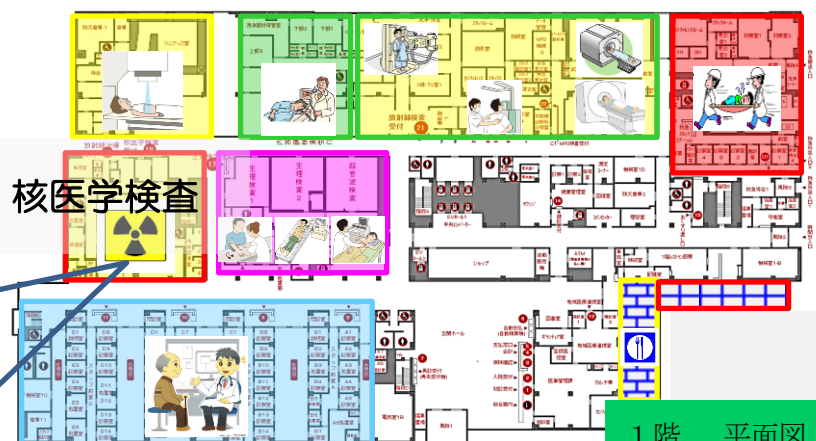
⑤検査内容は苦痛など捉われなく、時間程度で完了します。

3

PET-CT 検査のお部屋



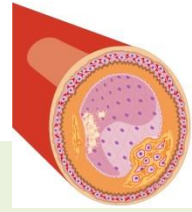
核医学検査



1階 平面図

公開講座開催報告

～北播磨総合医療センターでは、一般市民向けに医療に関する公開講座を開催しています。～



「血管年齢を調べてみよう」
健康そうに見えても実は進んでいる動脈硬化

神経内科の濱口部長と中央検査室スタッフが中心となり、参加者全員の血管年齢測定を実施するという講座を今年初めて企画開催しました。6月2日に受付を開始しましたが、2時間で募集定員の50名に達してしまい、その後応募いただいた方には大変申し訳なく思っています。



講座は、6月21日（土）午前10時、濱口医師からの血管年齢に関するミニ講演から始まりました。その後、脈波装置とエコ装置を使用しての血管年齢測定を全員に実施し、最後に濱口医師の個別説明を受けて終了となりました。

自分の血管の状態を知ること、病気の予防や普段の健康づくりに役立っていたら幸いです。



「放っておくと怖い脳卒中」

こんな症状が出たら迷わず

119番

6月28日（土）午前10時、三木市の青山公民館において、公民館と共催の形で、公開講座を開催しました。テーマは「脳卒中」、そもそも脳卒中とは脳の血管が破れるか詰まるかして、脳に血液が届かなくなり、脳の神経細胞が障害される病気です。より早期に治療を開始すると後遺症が軽くなることある救急疾患です。

講座の第一部では、濱口神経内科部

長から「脳卒中とは？」、「予防するには？」といったポイントをわかりやすく説明していただきました。

第二部は、三宅脳神経外科部長から、最新の治療法について、写真や動画を使って説明していただきました。

お二人共通の思いは、脳卒中患者さんを少しでも早く治療し、社会復帰してもらいたいということです。脳卒中の治療は時間との勝負、発症からいかに早く病院に到着できるかが鍵となります。一人でも多くの方にそのことを伝えたい、その熱意は参加のみなさんにも十分伝わったと思います。

当日は160名を超える参加をいただき、資料が足りなくなるという場面もありましたが、うれしい悲鳴ではありました。



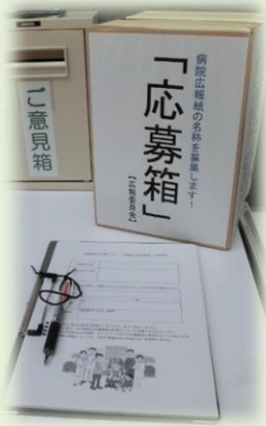
広報紙の名称が、「ほほえん de 北播磨」に決定しました。

利用者向け広報紙を発行するにあたり、その名称を公募させていただきました。

5月に外来や病棟に応募用紙を置かせていただきましたが、応募いただいた中から、広報委員会で選考検討させていただいた結果、「ほほえん de 北播磨」が選ばれました。

この名称を応募いただいたのは、小野市天神町にお住まいの上田光子様で、先生のほほえみがうれしかったという思いをこめられたそうです。

ほかにも多くの方に応募いただきましたこと、この紙面を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。



マザークラスが開催されました（妊娠前期）



5月2日（金）に、女性病棟と産婦人科外来が協力して、当院として初めてのマザークラスを開催し、7名の妊婦さんが参加されました。

管理栄養士による「妊娠中の食事について」、歯科口腔外科医師による「妊娠中の歯について」、助産師による「妊娠中の生活について」の講話があり、皆さん真剣に聞いておられました。今後もマタニティライフを楽しく過ごしていただき、安心してお産に望んでいただきたいと思います。

マザークラスへの参加は当院の産婦人科外来に通院中の妊婦さんが対象です。里帰り出産で他院で出産される方も受けていただけます。

【マザークラス】

◎前期（28週まで）

第1木曜日 13時30分～

◎後期1（29週～）

第2木曜日 13時30分～

◎後期2（29週～）

第3木曜日 13時30分～

【マタニティヨガ】

第3水曜日 13時00分～

※会場はすべて2階の患者教室

母子健康手帳の持参が必要です。

■マザークラスに関するお問い合わせは・・・産婦人科外来へ

【マザークラス】

マザークラスとは、妊娠生活を快適に過ごせるように、またリラックスしてお産に臨めるように、医師や栄養士や助産師がこれからの妊娠生活を指導する教室です。また、妊婦どうしの交流、助産師との交流の場としての目的もあります。

【編集後記】

「万緑の中や吾子の歯生え初むる」は中村草田男の有名な俳句ですが、今まさに季節は万緑。北播磨総合医療センターも、青々とした木々に囲まれています。

このたび、初めての広報紙をやっと発行することができました。利用者の皆様方から募集した広報紙の名称も、「みどりの風」や「みどりの展望」「みどりの心」など、みどりという言葉が多く見られました。草木生い茂る成長の季節に誕生した広報紙が、北播磨総合医療センターを利用してくださる皆様に広く愛され、多くの方々に触れていただけることを願って、「万緑の風澄み創紙ゆめ語る」編集後記とさせていただきます。

看護部次長兼HCU病棟課長

中井英子

